早稲田大学文学研究科

英文学コース



2026 年秋学期

文学研究科英文学コース主任
都甲幸治
英文学コース助手
加藤佐和子

本日の流れ

1. 文学研究科英文学コースでできること
2. 2026 年度研究指導一覧
3. 修士課程・博士後期課程の修了要件
4. 入試情報（英文学コース独自ルールあり）

1. 文学研究科英文学コースでできること

あらゆる時代の英語圏文学、文化を研究することができるだけでなく、英語学・英語教育学についても研究ができます。英文学コースが誇る多彩な教授陣の指導の下で、研究の作法を学び、学会発表や投稿論文の作成（演習での発表に始まり、学内学会を経て全国学会さらには国際学会に至るまで)、そして最終的には学位論文の完成を目指すことになります。こうした日々の研究活動の積み重ねにより、自立した教育・研究者への道を着実に歩むことができるでしょう。主な進路としては、修士課程修了者は博士後期課程への進学や留学のほか、中学・高校の教員や編集者に、博士課程修了者は翻訳者や大学教員などになっています。

2. 2026 年度 文学研究科英文学コース 研究指導一覧 【参考】

英米文学演習／研究指導	【修士課程】	【博士課程】	主な指導領域
1	栩木　伸明	栩木　伸明	アイルランド文学
2	調整中	調整中	シェイクスピアを中心とするイギリス演劇
3	都甲　幸治	都甲　幸治	現代アメリカ文学・文化
4	堀内　正規	堀内　正規	アメリカ文学（散文・詩・小説）・文化
5	E・チャン	E・チャン	American literature, film studies, cultural studies
6	山内　功一郎	山内　功一郎	アメリカ詩、現代詩
7	皆本　智美	皆本　智美	18・19 世紀英文学、英仏比較文学、英日女性文学
8	渡辺　愛子	渡辺　愛子	現代イギリス地域研究
9	小田島　恒志	小田島　恒志	現代イギリス小説、現代英米演劇、翻訳論
10	岡田　俊之輔	岡田　俊之輔	近現代英米文學・文化
英語学演習／研究指導 1	S・ライアン	休講	言語学習心理学、英語学習者のモチベーション
英語学演習／研究指導 2	T・ホサイン	T・ホサイン	英語教育学、社会言語学、応用言語学／Sociolinguistics, Language and Education Policy

3. 修士課程・博士後期課程の修了要件

修士課程

ネイティブ・スピーカーによる基礎講義で大学院レベルの英文学研究の基礎を学ぶと同時に、多彩な「特殊研究」と「演習」によって個別の領域についての知識を深める。1・2 年次とも指導教授による「研究指導」を必修とし、その下で各自の選んだ研究を進め、修士論文の完成を目指す。

［1］修了要件

必修科目 20 単位を含む 32 単位を履修し、修士論文を提出すること。

［2］履修可能な科目の全体像

科目種別	1 年次	2 年次	必修単位数	
研究指導	必修	必修	—	
コース設置科目(演習)	必修（4）〇	必修（4）〇	必修（8）	16
コース設置科目(講義)	〇	〇	8	
共通科目（講義）	〇	〇	—	
共通科目（外国語）	〇	〇	4（英語除く）	
他コース設置科目	〇	〇	—	
修士論文	—	必修	—	
修了所定単位数　32				

［3］　必修科目（演習 8 ＋ コース設置講義 8 ＋ 外国語 4 = 20 単位）について

・研究指導（＝「コース設置科目（演習）」）を 8 単位履修すること。

・修了までに「英米文学基礎講義 1～6」から **4 科目 8 単位**を履修すること。また、**「英米文学基礎講義 2」（後期）は全員必修**で、特に 1 年次に履修することを勧める。

・修了までに共通科目（外国語）から **1 言語または 2 言語 4 単位**を履修すること。

※ **英語は外国語の単位にならないため注意**。留学生は母語も外国語単位にならない可能性がある。

［4］　修士論文について

(1) 修論を日本語で書く場合	修論（日本語 50,000 字程度） ＋上記の要約（英語 5,000 語程度） ＋概要書（日本語 8,000 字程度）
(2) 修論を英語で書く場合	修論（英語 15,000-20,000 語程度） ＋概要書（日本語 8,000 字程度）

※2 年生の 5 月に修士論文計画書を提出　→　副査決定

【参考】2024、2025 年度提出の修士論文題目

・A Suggestion for Enhancing Japanese Society's English Communication Situations
・A Study of Pygmalion
・Different Loyalties in Richard II and Henry IV Parts 1 and 2
・キャサリン・マンスフィールドと第一次世界大戦
・コーマック・マッカーシー『国境三部作』研究
・Exploring Emotion Regulation: A Comparative Analysis of Novice and Experienced Language Teachers
・Language Use and Attitudes of Young Chinese Singaporeans
・Pedagogical Benefits of English Humor for Japanese High School Students' Motivation, Anxiety, and Classroom Practice

博士後期課程

指導教授の指導の下で、自発的な研究活動を行ない、博士論文の完成を目指す。修了要件は単位取得に拠らない。

【博士論文審査過程】※詳しくは英文学コースホームページ内「博士論文内規」参照

☆英文学コース内部での審査過程（英文学コース内規）

博士論文構想発表会（2 年次の 7 月以降、随時行う。）

↓

書き直し、軌道修正など

↓

博士論文の完成（英語 60,000 語から 80,000 語、日本語 140,000 字から 180,000 字を目安。文献一覧を含む。）

↓

指導教授および副指導教授と相談の上、**博士論文を主任に提出**

↓

博士号請求論文審査委員の決定

↓

内部審査会

↓

正式な審査過程へ　（※詳しくは文学研究科ホームページ参照）

【参考】近年の博士号授与論文題目

- Incorporated in Americanism: Virginia Woolf in American Magazines around 1923-40
- 「斜めの現実」――南北戦争とエミリ・ディキンスン
- ジェイムズ・ジョイスの作品における亡霊表象の研究――トラウマ、事後性、歴史
- Immoral Longings――J. M. Coetzee の *Waiting for the Barbarians* 及び *Disgrace* における命を巡る思索
- A Ghost Light of Modernism: Reorienting the Community in Hart Crane's *the Bridge*
- Shakespeare, Education and Popular Culture in China
- A Study in the Paratext of the Seventeenth Century Religious Poetry
- Shakespeare Film Adaptations Reflecting Contemporary Social Issues: Shift and Dynamism of the Playwright's Reconsideration from 1980 to 2015
- ジョン・フレッチャーの作劇術――観客操作と性的表象
- 類型からの脱却――チャールズ・ディケンズの作品における消極的な主人公を中心に
- The Relationship between the Three Substantive Texts of *Hamlet*: A Study through Q1, Q2, F1 Parallel Texts









Courtesy of Wikimedia commons

4. 入試情報（英文学コース独自ルールあり）

修士課程

◇推薦入試

日程	出願期間：6 月 1 日～10 日　試験日：7 月 11 日　合格発表：7 月 16 日
選考方法	書類選考および口述試験
研究計画書	日本語 4,000 字程度の計画書＋英語 1,500 語程度の要約、もしくは、英語 3,000 語程度の計画書＋日本語 1,200 字程度の要約。

◇一般入試（2027 年度入学試験データ）

日程	出願期間：7 月 14 日～7 月 27 日（日本国外の大学を卒業した場合は、7 月 1 日～7 月 13 日）、一次試験：9 月 14 日　二次試験：10 月 4 日　合格発表：10 月 8 日 ※出願資格によって期間が変わりますので、ご注意ください。
選考方法	一次試験（書類審査および筆記試験）、二次試験（口述試験／一次試験合格者のみ）
研究計画書	希望する専門にかかわるテーマについて日本語 2,000 字程度のもの。
筆記試験	(1) 外国語 (A) 日本の中学校・高校を修了した者　⇒　仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち 1 ヶ国語　※英語は選択できない　※辞書持ち込み不可 (B) それ以外の者　⇒　日本語　※辞書持ち込み不可 (2) 専門科目　…　英語・英米文学または英語学、英語教育学

◇論文特別選抜入試（2027 年度入学試験データ）

日程	出願期間：12 月 1 日~10 日　一次試験合格発表：1 月 21 日 二次試験：1 月 30 日　最終合格発表：2 月 1 日
選考方法	一次試験（書類審査）、二次試験（口述試験／一次試験合格者のみ）
審査対象論文	早稲田大学文化構想学部・文学部の「卒業研究・ゼミ論文・卒業論文」、もしくは早稲田大学教育学部・国際教養学部・人間科学部・社会科学部に提出したこれに類する論文に限る。
研究計画書	日本語 2,000 字以上 4,000 字以内、もしくは英語 1,000-2,000words の計画書
英語能力に関する証明	TOEFL iBT IELTS（Academic）・Computer-delivered IELTS（Academic） TOEIC 試験結果について、スコアシートを原本郵送または電子送信で提出。なお提出にあたっては出願書類一式に含めるのではなく、試験実施団体より直送すること。 ※英語圏の大学（学部・大学院）出身の方など、提出が不要な場合もあります。

博士後期課程　（2026 年度入学試験データ）

日程	出願期間：11 月 18 日～12 月 1 日（※出願資格によっては 11 月中旬） 一次試験：1 月 24 日　二次試験：1 月 30 日　合格発表：2 月 1 日
選考方法	一次試験（書類審査および筆記試験）、二次試験（口述試験／一次試験合格者のみ）
研究計画書	博士論文の研究計画について 8,000 字程度のもの**（※特別措置あり）**
修士論文	・提出論文の使用言語は原則として日本語または英語 ・他大学の研究科修了（見込み）の方、当研究科修了（見込み）のコースと志望コースが異なる方は提出必須（当研究科修了（見込み）で出身（所属）コースと志望コースが同じ場合、提出の必要はありません）。
筆記試験	(1) 外国語 (A) 日本の中学校・高校を修了した者　⇒　仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮語のうち 1 ヶ国語　※英語は選択できない ※辞書持ち込み可（電子辞書は不可） (B) それ以外の者　⇒　日本語**（※特別措置あり）** (2) 専門科目　…　英語

※詳細は早稲田大学文学研究科ホームページで公開されていますのでご参照ください。

※コース特別措置（【参考】2027 年度入試要項より抜粋）

特別措置の適用には、**事前の承認　が必要**です（〆切までに文学学術院事務所に要問い合わせ）

受験要件	通常	要件の緩和が認められた場合
出願書類(日本語能力に関する試験結果)	日本語能力試験 2 級(N2)合格証明書、または日本留学試験「日本語(「記述」を除く)」220 点以上の成績通知書(いずれもコピー可)	日本語能力に関する試験結果の代替として、英語以外の統一外国語試験(※指定あり)の成績を出願時に提出することを認める。
出願書類(研究計画書)	日本語 8,000 字程度	英語 5,000 語程度に代替可能
第一次試験(筆記試験)	一般外国語として仏・独・露・現代中国・伊・西・朝鮮・日本語のうち 1 カ国語選択	免除(当日は専門科目からの受験)



お問い合わせは下記までお気軽にどうぞ！（以下は 2026 年度秋学期の日程です。）

■英文学コース室（33 号館 5 階 503 号室）

月曜 09:00-16:45	火曜 10:40-16:00	水曜 12:00-17:00	木曜 10:00-16:45	金曜 09:00-18:00
助手・TA・LA が対応	TA・LA が対応	助手・TA が対応	TA・LA が対応	助手・TA・LA が対応

■Tel: 03-5288-3614

■Email: waseda.eibun.course@gmail.com

■英文学コースのホームページ：http://waseda-buneibun.com/

早稲田大学英文学コースは

みなさまの進学を心よりお待ちしております



LA 制度のご案内

English Studies Course

論文ってどう書けばいい？



英文学コース室では、みなさんと年の近い大学院生が
LA（ラーニングアシスタント）としてレポートや論文の書き方、
学習の悩み・方法などの質問に答えます！

いつなら相談にのってもらえる？



コース室開室時間なら
いつでも！
LAの専門によらず
どんな質問でも
受け付けます！

2026年度秋学期LA在室時間（専門領域）
月：12:25～16:45（英語教育）
火：10:40～14:50（文学）
水：不在
木：12:20～16:45（英語教育・文学）
金：10:40～14:50（文学）

英文学コースHP
コース室開室時間はこちらから

